



議会だより

# おやま 町議会

No. 133

発行：静岡県駿東郡小山町議会



小山町制施行100周年・南足柄市制施行40周年「きんたろう議会」

12月  
定例会

- 南足柄市と「きんたろう議会」を開催 ..... 2
- 町政のここが聞きたい 一般質問に11人 ..... 3
- 私の望み・議員研修報告 ..... 14



● 一般質問 ●

# 町政のここが聞きたい



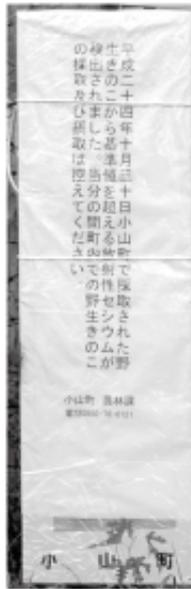
渡辺悦郎

## Q 放射性セシウム検出に おける町の対応を

## A 注意喚起及び風評被害の 防止に努めます

町内の野生キノコから放射能セシウムが検出され、原子力災害対策特別措置法により野生キノコの出荷停止指示が出ました。

町が県からの情報を得た段階で町民への情報提供は速やかに実施したのか。



▲放射性セシウムに対応した立て看板

生活を送る環境を整えることが必要ではないか。

## 一般会計

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ億4千257万6千円を増額し、予算総額を84億1千564万3千円とすることを全員賛成で可決

### 【歳入の主なもの】

◆町税を2千548万円増額するもの

◆不動産売却収入を3千855万6千円増額するもの

◆総務費寄付金を3千519万円増額するもの

### 【歳出の主なもの】

◆基金管理費を3千337万8千円増額するもの

◆自立支援給付費を2千6万3千円増額するもの

◆こども医療費助成費を1千38万5千円増額するもの

◆町道整備事業費を2千559万2千円増額するもの

● 一般質問 ●

# 一般質問に11人の議員が町の方針をただしました



込山恒広

**Q** 町長の考える成美地区の活性化策について。

本町は合併当時（昭和30年より）7千76人減少。更に地区別では、小山地区が、8千96人減。北郷、足柄は増加していますが、人口減少を食い止めるまでには至っていません。また町内5校の小学校児童数も約1/2に、成美小は約1/3に減少しています。

今回の100周年記念イベントのメイン会場は、北郷・足柄地区であり、成美地区住民の元気を削ぐ結果になったと聞いています。当地区は、役場本庁舎の所在地でもあり、町制100周年の節目に当たり、地区再生プランについて伺います。

**Q** 人口減少社会と成美地区の活性化を

**A** 地域の活性化に取り組んでいきます

**A** 町長 総務 省統計

局の将来人口推移によると平成67年には3割の減少が見込まれていることから人口減少を食い止めることは厳しい状況にあることを示しています。このような状況から金太郎計画20より各地域の皆様と町民協議会を設置し、行政と地域住民の協働により地域別計画の策定を考えています。このような中から町民の皆様の見解を集約し、少子高齢化や人口減少社会への対応を踏まえ駿河小山駅、富士紡織周辺や健康福祉会館の利活用を考えながら成美地区の活性化を検討します。



▲成美地区の落合商店街

**Q** 夏祭り等の成美地区メイン会場復活の計画について。

**A** 町長 成美地区におきましても湯船あじさい祭りや、富士山金太郎春まつりなどを実施していますが、地区の皆様のご要望やご提案などに耳を傾けながら、かつての成美地区の賑わいを取り戻せるよう、地区、行政、観光協会、商工会などが一体となって地域の活性化に取り組んでいきたいと考えています。

**Q** 富士紡織跡地の活用策について。

**A** 町長 富士紡織周辺の活用策についても地域の皆様と富士紡織の意見を取り入れながら検討していきます。

富士紡織跡地の活用策について、少子高齢化や人口減少社会への対応を踏まえ駿河小山駅、富士紡織周辺や健康福祉会館の利活用を考えながら成美地区の活性化を検討します。

## 特別会計

### 国民健康保険特別会計補正予算

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億403万3千円を増額し、予算総額を20億2千759万6千円とすることを全員賛成で可決

### 〔歳入の主なもの〕

◆国民健康保険保険給付等基金繰入金を1億円増額するもの

### 〔歳出の主なもの〕

◆一般被保険者療養給付費を8千500万円増額するもの  
◆一般被保険者高額療養費を1千500万円増額するもの

※その他の特別会計補正予算3議案も全員賛成で可決

● 一般質問 ●



池谷 洋子

Q 児童虐待防止の啓発は

A 要保護児童対策地域

協議会を中心に連携体制の

強化を図っています

昨年度、全国の児童虐待相談件数は5万9千882件と過去最多を更新しました。町は児童虐待ゼロを目指す取り組みを推進しては、

虐待による死亡事例のうち0歳児の死亡が約4割です。育児相談など出産前後からの支援にも力を入れるべきです。虐待が起きてからではなく、

校では技術・家庭の授業で、高校では保健体育の授業の中で児童虐待防止を学んでいます。今後は、町の成人式において児童虐待防止のチラシを配布するなど、

業を展開していきたいと考えています。

Q 児童虐待防止の周知を図るため、役場直通の連絡先や児童相談所につながる全国共通ダイヤルなどを記したカードを作製し配布しては、

A 町長 ご指摘のカードは、本庁、各支所などのカウンターに置き、啓発に努めています。今後は、広報紙に役場関係部署の直通連絡先と全国共通ダイヤルを掲載し、さらなる啓発に努めます。

A 町長 出産前後からの支援として、助産師や保健師の訪問相談、パパママ学級、24時間電話無料相談などを実施しています。10代、20代の若者への啓発事業としては、中学

校では技術・家庭の授業で、高校では保健体育の授業の中で児童虐待防止を学んでいます。今後は、町の成人式において児童虐待防止のチラシを配布するなど、

行政や警察、乳幼児健診時などの医療機関、幼稚園、保育所、小学校、地域、民生・児童委員などの連携体制の強化について。



▲児童虐待防止啓発用のパンフレット

A 教育部長

児童相談所、警察、医師会、民生・児童委員、人権擁護委員、学校・幼稚園・保育園などの代表で組織する要保護児童対策地域協議会を中心に、担当者会議、ケース会議を開催し、情報の共有、連携体制の強化を図っています。

金太郎元氣基金  
金条例を制定



金太郎生誕の地 おやま

金太郎元氣基金条例は、町制100周年を記念して実施する後世に残る記念事業のための経費を管理するものです。町では、今年で100周年を迎え、町内外の各企業様から協賛金を頂き、記念事業を実施しています。今後、金時公園、豊門公園、金太郎にまつわる資源整備等を円滑に実施するに当たり協賛金の一部を基金として積み立て、管理する必要があることから、条例を制定するものです。

※全員賛成で可決

● 一般質問 ●



池谷 弘

**Q** 富士山世界文化遺産に

向けた観光施設の整備は

**A** 有効性と実現性を検討していきます

**Q** 富士箱根トレイルの須走口五合目から馬返しまでの間について、測量調査実施後、整備が行われていません。また、グランドキャニオンへの立ち入りも制限されています。そこで、トレイル整備とグランドキャニオン観光への取り組みについて伺います。

**Q** 須走口五合目から御殿場口新五合目へ下るルートは雄大な景色が望めますが、小山町、御殿場市でハイキング道としての整備を進める考えはありますか。また、両登山口を結ぶ交通システムの整備への対応について伺います。

**A** 町長 トレイルの整備については、関係機関との協議が整いましたので、今後、誘導標識を設置し、整備を行った上で、通行ができるようにします。また、グランドキャニオンは、東富士演習場の区域内に位置しているため、遊歩道を整備することは難しいと考えますが、隣接するトレイルからの眺望箇所の整備など、安

**A** 町長 このルートは、国有林と民有林の中にあり、小山町と御殿場市の行政界をまたいでいますので、整備を進めるには、いくつかの課題がありますが、富士山の魅力や楽しみ方を広げるための施設整備として進めていきたいと考えています。また、両登山口を結ぶ交通システムは、その有効



▲須走地区の観光案内図

**Q** 富士山や小山町の良さを伝えるガイド育成の取り組みについて伺います。

**A** 町長 観光振興を図る上で、観光ガイドの存在は必要であると考えています。今後、関係団体と調整を図り、ガイドマニュアルの作成やガイド養成講座などの開催を検討していきます。

**Q** 富士山や小山町の良さを伝えるガイド育成の取り組みについて伺います。

**A** 町長 観光振興を図る上で、観光ガイドの存在は必要であると考えています。今後、関係団体と調整を図り、ガイドマニュアルの作成やガイド養成講座などの開催を検討していきます。

**町有地を足柄林業組合に払い下げ**

竹之下字獅子場、面積56万6千127・7㎡の払い下げの申し出がありました町有地について足柄林業組合に払い下げるものです。

当該地は、合併前に足柄村の各地区が所有し、植林と山林撫育を行っていた土地でありましたが、大正15年の村有財産への統一により、足柄村に寄附となり、その後の合併により、町が所有権を継承し、町有地となったものです。

現在、足柄林業組合に貸し付け、同組合による山林撫育が行われている土地と、一部は、町の直営地です。

当該地の払下げ価格は、1㎡当たり70円、総額3千962万8千939円で払い下げるものです。

※全員賛成で可決

● 一般質問 ●



米山千晴

平成25年に開催されるユネスコ世界文化遺産委員会において、富士山の世界文化遺産登録の可否が決定されます。

Q 富士山が世界文化遺産に登録されると、登山客や観光客が増加し大変な混雑が予想されます。環境保全と観光振興の両立をどう考えるか。

A 町長 現在、環境基本条例、観光振興条例の制定に向けて準備をしています。制定後は条例を指針として、富士山の環境保全および観光振興を静岡県のみならず山梨県を含んだ富士山周辺自治体や関係団体を交えて、連携し協力しながら進

Q 富士山「世界文化遺産」登録された後の対応は

環境基本条例、観光振興と

環境基本条例、観光振興と  
環境保全に努めます

めていきます。

Q 外国人来訪者や軽装登山者の増加により、登山に対する危険性も増すなどの問題が生じているが、登山者に対する対策は、また、一定の入山規制の考えは、

A 町長

登山者の利便性の向上のために、観光案内も併せて行う「富士登山ナビゲーター」を24時間体制で常時2人を配置しています。入山規制については、富士山周辺の市町の

動向を見ながら、慎重に対応していきます。

Q 須走口登山道の合目から5合目までの旧登山道の保存と、平成20年に調査した古御殿神社の遺跡の修復と保存は、

A 町長



▲富士浅間神社入口

A 町長 旧登山道は法律の遵守を指導し、遺跡につきましては、文化財調査の結果を基に原状に復し、施設を整備することなく現状の継承に努めていきます。

Q 構成資産の富士浅間神社も予想以上の来訪者が予測されます。富士浅間神社周辺の今後の整備と対応は、

A 町長

富士浅間神社周辺景観づくりワークショップの取り組みに基づき、道路上の世界遺産誘導標識、個々の看板の統一化や本通りの景観地中化を各関係機関の協力のもと景観整備を検討していきます。

道の駅「ふじおやま」と町民いこいの家の指定管理者の指名について

道の駅「ふじおやま」地域振興センターの指定管理者の指定については平成24年11月26日開催の小山町公の施設の指定管理者選定委員会において、民間の能力を活用して、利用者のサービス向上、経費の削減等が期待できるものとして、ふじおやまが指定管理者として選定されたものです。

町民いこいの家の指定管理者の指定についても平成24年11月26日開催の小山町公の施設の指定管理者選定委員会において、効率的な運営による経費削減はもとより、地域の振興及び地域の活性化に期待ができるものとして、足柄サービス合同会社が選定されたものです。

指定管理期間は、両施設共に平成25年4月1日から平成28年3月31日までの3年間となります。

※全員賛成で可決

● 一般質問 ●



高畑 博行

「MV-22オスプレイの安全性が極めて懸念される中で、キャンプ富士での飛行訓練が発表された。」

「具体的かつ丁寧な説明が地元にはないまま、今回の訓練実施に踏み切ることになる。町長は町民の安全を守る立場を明らかにし、訓練実施に対する見解を表明すべきと考ええるが。」

「A 町長 MV-22オスプレイの訓練に関する国側からの詳細な説明はありませんでした。キャンプ富士での飛行運用は、東富士演習場使用協定に基づく地元との事前協議が必要であると考え、国側に対し事前協議が整う前に訓練が開始される

Q MV-22オスプレイの

キャンプ富士での飛行訓練は

A 町民の安心・安全のため、国側に対し

詳細な説明を強く求めていきます

ことがないよう、使用協

定に基づく運用委員会の開催について確約をとりつけ、平成24年12月6日に開催される予定です。

町民の皆様の安心・安全のため、国側に対し詳細な説明を強く求めていきます。

成美小学校の外トイレ

は使えない状態になって長い。また、プールもろ過機の故障や水漏れの問題があり、困っている。

Q 教育関連の大型事業で財政は逼迫しているが、実際に困っている外トイレやプールの改修の見直しは立たないのか。

A 教育長 今までの計画的に



MV-22オスプレイ

▲オスプレイのパンフレット

実施してきました学校施設の耐震化事業につきましては、今年度で完了いたしました。保育園の耐震事業や生涯学習施設のリニューアル事業との兼ね合いもありますので、順次、プールやその他施設の必要な箇所の改修を実施していきます。

A 教育長 中島の金時公園

内の町民プールは、昭和45年の開設で、老朽化が進んでいることから、成美小学校のプールを町民プールとして利用できるよう進めています。

Q プールについては成美小のプールを町

議会改革調査  
特別委員会の  
中間報告

昨年3月に設置され、毎月1回のペースで委員会を開催し、議会の活性化について検討をしています。

さらに、分科会を設けて特定事項の細部についても検討しています。

検討結果が出たもの内、実施可能なものから実施することとし、中間報告を12月定例会で行いました。

その内容は、会派制度の導入、個人研修(費用弁償等)を整理しての政務活動費の支給、一般質問方法の変更(一問一答方式の導入)、議会議決事件条例の制定、協議等場の規定等です。  
3月定例会に条例の制定議案等を提出します。  
他の事項については、引き続き検討していきます。

● 一般質問 ●



桜井 光一

Q 姉妹町岡山県勝央町との交流を

A 民間交流を中心に考え、

町は応援していきます

私は去年の10月6日、7日で開催された勝央町金時祭に参加して、交流について思った事、感じた事を質問します。

Q 足柄小と勝岡田小が姉妹縁組を結び、交流を継続しているが、主たる交流事業は？ 他の学校も縁組をさせたらどうでしょう？ 青少年時代からお互いの町を知るのも貴重な財産となります。町の考えは？

A 教育長 昭和49年8月の縁組後、作文などの作品を互いに送るなどの交流を行っていましたが、現在は交流を行っていません。人的な交流は、遠方のため難しいですが、作品を互いに

送るなどの交流は可能であり、岡山の産業や文化などを学習する機会にもなるため、他の学校同士の交流も含めて、姉妹校としての交流を深めたいと考えています。

Q 勝央町はスポーツ少年団の活動が非常に盛んです。毎年少年団スポーツ交流を行う考えはあるか？ 各少年団の年間 MVP 制度を導入し表彰する考えは？

A 教育長 民間交流を中心に考え、具体的に考えていますので、具体的な交流要望がありましたら、町として応援したいと考えています。また、MVP 制度については、各団体において団体 MVP 選手

を表彰するなど、団体の活性化につながるので、町としても応援したいと考えています。

Q 平成25年には我が町のシンボル、誇り高き富士山が世界文化遺産となる見込みです。勝央町民は富士山を見たい、登ってみたいと憧れている人が大勢います。これを機に勝央町民を富士登山に招待してはどうか。

A 教育長 富士山に登し体験することは、子どもたちに大きな感動を与えるものと確信しています。



▲ 勝央町の勝岡田小と姉妹縁組している足柄小の資料

防災行政無線のデジタル化を進めています

財産の取得について

(無線放送施設購入)

昭和61年度に整備しました防災行政無線の移動系無線設備をデジタル方式に変更更新する事業であり、主な機器は、無線統制台整備、副統制台設備、各1台、半固定型無線装置14台、車載型無線装置50台、携帯型無線装置65台、アンテナ等の整備を実施するものです。異事業との関係もあり、日立国際電気静岡営業所と協賛契約するものです。※全員賛成で可決

災害復旧対策 特別委員会

平成24年12月13日(木)に、役場の会議室において、国土防災技術株式会社を招き、「山林災害に対する分析と今後の対応について」(スコーリアの流出対策)の勉強会を行いました。

● 一般質問 ●



湯山 鉄夫

**Q** 富士山の噴火活動を想定した防災の取り組みは

**A** 国・県と連携し、御殿場市、裾野市と広域避難計画を作成します

想定した防災の取り組みは

**Q** 宝永4年(西暦1707)の砂地獄ともいわれた富士山噴火はこの地に甚大な火山災害を生じた。その後300年が経過した今日、新たな活断層が発見され、富士山噴火説が学者や専門家達より警戒し、対策を準備すべしとの指摘がされました。看過する事なく真摯な取り組みが必要不可欠であります。

即対応できる態勢づくりを急ぐこととであります。

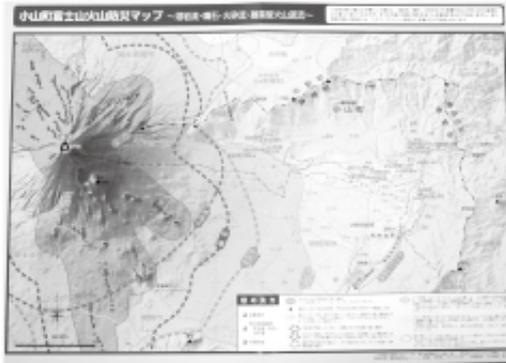
連日各地で地震が発生している状況下、自然現象の予知予測はできないが、過去の火山噴火による発生した状況を捉え、当時の実態や史実の調査研究を進め、また東日本大震災の現況を教訓に将来発生することを想定した実践的危機管理対策をもって「いざ」の時

町長の認識、どのような対策が必要かを伺います。

**A** 町長

富士山の噴火活動について、仮に宝永噴火と同様のレベルで噴火した場合の被害の甚大さや住民の危険性については、以前から認識しているところです。

町では、平成16年度末に「小山町富士山火山防災



▲噴火を予想して作成された富士山火山防災マップ

計画」を追加しています。しかしながら、富士山噴火への対応は、町単独では

不可能であり、広域的な対応が必要となり、本年6月に静岡、神奈川、山梨の三県と本町を含む関係市町村や国の機関からなる「富士山火山防災対策協議会」が組織され、平成26年度の合同訓練実施を目標に、広域避難計画等を議題として、定期的な協議や担当者会議を行っています。

町としては、国・県と連携し、御殿場市、裾野市とともに広域避難計画作成に着手しています。年内には、計画の概要を作成し、関係する学区や区毎に計画案を提示して、各自主防災組織や区等から意見聴取を行い、年度末には完成したと考えています。

**空き家に対する適正な管理を進めていきます**

**空き家等の適正管理に関する条例**

近年、高齢化や過疎地への居住、または経済的事情などの理由により、空き家が自立的な管理による影響が近隣住民に不安を抱かせたり、迷惑をかけたりにあります。

これまで、町には管理の不十分な空き家の所有者等に対して、適正な管理を行うように求める規定がありませんでしたので、新たな条例を制定し、空き家の所有者等に対し、適切な管理を求められることができるようになります。

本条例は、平成25年4月1日からの施行となります。

※全員賛成で可決。

● 一般質問 ●



阿部 司

**Q** 消防団の車庫や詰所の環境整備は

**A** 団員の活動がしやすい  
環境整備に努めています

10月に第5分団の建設状況や耐震性貯水槽について確認したが、団員の皆さんが町や地域の為に貢献し活躍している割には環境の整備が不十分であり、非常勤とはいえ、いざという時にその力を十分に発揮できるように、町として環境を整えてやる必要がある。

**Q** 第5分団の他にも環境の整備が不十分な分団があると聞いているが、年度計画で改善しようとする計画はあるのか？

**A** 町長 各詰所の整備は、具体的な年次計画はありませんが、各分団が毎月3回手入れを実施しており、非常に大事に使用していただいています。

**Q** 詰所の机や椅子が極めて古いものであり、新しい車庫・詰所にあった備品の整備を検討されたい。

**A** 町長 建設中の車庫詰所の備品は、地元の支援をいただけるようにお願いをしているところであります。

また、ロッカー設置については、工事の中で整備していきます。

ていきます。

**Q** 第3分団の車庫・詰所は築39年と聞いていますが団員や装備品の安全のために耐震化する計画はあるのか？

**A** 町長 地震等の発災時の応急対策観点でありますことから耐震性を確保し、団員の生命の安全と装備品の確保の観点からも、耐震化を進めていきたいと考えています。

**Q** 第3分団の車庫・詰所は築39年と聞いていますが団員や装備品の安全のために耐震化する計画はあるのか？

しかしながら、現在の立地条件を考えると、敷地や配置に制約が予想されます耐震化工事計画や事業実施時期は、現時点では未定であります。環境整備に向け、移転も含めてあらゆる方向性を検討しています。



▲建設工事が行われている消防団第5分団車庫

※その他に、(仮称)郷土資料館の公開施設の整備についての質問をしました。

パークゴルフ場の使用料を500円から900円に値上げ

小山町立学校等使用条例等の一部改正

町行財政改革審議会からの答申を尊重し、施設使用料の改正を平成25年7月から行うものです。

今回の施設使用料の改正は、適切な負担のあり方として「受益者負担の原則」、「共通的な算定方法の確立」及び「減免基準の見直し」の3項目について検討し、改定額は、貸し出し施設と個人利用施設の2つに分けて算出しました。

減免基準の見直しについては、利用者が施設によって大きく異なることがない基準としています。議員から、値上げに対して反対討論が2件ありましたが、多数賛成で可決しました。

なお、減免基準についての所要の改正は、本年度中に行う予定となっております。

● 一般質問 ●



鷹 嶋 邦 彦

**Q** ジェネリック医薬品の使用推進を

**A** 地元の医師会・歯科医師会・  
薬剤師会と協議しながら

検討していきます

数年前からジェネリック

医薬品という言葉が普及してき  
て、通常新薬の特許期間が切れた後、新薬と同じ有効成分で製造し、品質基準が保たれ、開発費等が大體に抑えられるため、価格が安く設定されているので、私たちにとっても良い面があるようだ。

**Q** 小山町の国民健康保険の医療費に占める調剤費の割合は？

**A** 町長 調剤費の割合は、国保の毎月の医療費支払額約1億円弱に対し、約1千500万円と約15%です。

**Q** 調剤費の内、ジェネリック医薬品の占

める割合は？

**A** 町長 ジェネリック医薬品の割合は、平成24年7月、8月、9月診療分で約29%です。

**Q** 「ジェネリック医薬品お願ひ」カードをカードケースと共に配布したところか？

**A** 町長 カード等の配布については、今後地元の医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得ながら、差額通知とセットとして、検討します。

**Q** 仮称「ジェネリック医薬品推進委員会」を立ち上げ各区に推進

委員という、リー

ダーを中心に使用推進を図り、使用率を上げ、医療費を抑制し、国保の健全運営を図るべきと考えるが、当局の考えは？

**A** 町長

推進委員会の立ち上げについては、一般的に医薬品の処方には、それぞれの患者の症例毎に専門知識が必要です。どの医薬品を選択するかは、医師と患者との診療において決まります。町の推進としては、公益・医師会・歯科医師会・薬剤師会・被保険者の代表により構成される小



▲薬局で扱っているジェネリック医薬品の一部

※その他に、町道の外割線の維持管理についてと地域住民による子育て支援についての質問をしました。

**本会議等以外の議会の活動状況**

(11月～1月)

- ◆ 11月2日(金) ※全員参加のもの  
駿東郡議定会健康増進事業
  - ◆ 11月11日(日) 第36回  
全国青樹祭(袋井市)
  - ◆ 11月15日(木)  
2市1町議員研修会
  - ◆ 11月30日(金)  
全農協議会・新東名に関する勉強会
  - ◆ 12月13日(木)  
全農協議会・災害対策特別委員会
  - ◆ 12月21日(金)  
小山町町制施行100周年・南定初上市制施行40周年記念事業「きんたろう議会」
  - ◆ 1月4日(金)  
賀詞交歓会
  - ◆ 1月24日(木)  
駿東郡議定会全議員研修(清水町)
- その他に、各委員会委員等としての活動もありました。

## ● 一般質問 ●



堀 繁 美

### Q 平成25年度予算編成方針は

**A** 大型事業に対応するため、予算規模が今年度より多くなります

当初予算は、その年に町が実施すべき施策、事務事業を定めた設計書であると考えています。

予算編成に当たっては、「第4次小山町総合計画」の実施計画に織り込まれている事業は、中期、長期の財政計画と当初予算の編成方針と密接であると思えます。

**Q** 予算・規模は、

**A** 町長 予算規模については、流動的ではありますが、今年度当初予算77億6千万円より多くなるものと見込んでいます。

**Q** 特に重要な施策、事業は、

**A** 町長 具体的な事業として、都市計画マスタープランの策定、きたこう保育園建設建築工事、光ファイバー網整備事業、生涯学習施設改修事業、新東名関連町道整備事業、橋梁長寿命化事業等を計画しています。

**Q** 町長の借り入れはどの程度か。

**A** 町長 きたこう保育園建設工事等の大型事業に対応するため、町債の借り入れは今年度より多くなる見込みです。

静岡県教育委員会は、通学路上の事故防止のため、県内公立小学校に通学路の実態調査を行った。

その調査の結果についてお伺いします。

**Q** 危険箇所は何箇所か。その対応と対策は。

**A** 町長 各小学校で危険箇所35箇所を点検をした結果、35箇所の報告があり、既に区長等からの要望により関係機関が内容確認しているものなどを除き、12箇所を抽出し、現地で道路管理者、警察、学校等が合同で対策を検討しました。それぞれ

設の設置など対策の実施に向けて、道路管理者等が調整しています。

**Q** 通学路の指定は誰が行っているか。

**A** 町長 児童・生徒の通学状況、地域の実情等を考慮し、各学校が指定しています。



▲通学路の危険な箇所に看板とポールを設置

### 3月定例会のお知らせ

3月定例会を次のように開催する予定です。議会の傍聴にお出かけください。

◆2月22日 町長から3月議会への提出議案の説明

◆2月25日 新年度予算の補足説明

◆2月28日 新年度予算の質疑と各常任委員会への付託

◆3月4日 一般質問

◆3月7日 総務建設委員会

◆3月8日 文教厚生委員会

◆3月15日 常任委員会委員長の審査結果報告、質疑、採決

※変更になる場合があります。

# 一私の望み一

No.6



田代拓也 (北郷中2年)

大人のみなさんは、乗り物の運転技術に自信がありますか。

雨や風をしのげて、人や物を運び、アクセルを踏み込むだけで前へ進む自動車は大変便利ですが、スピードが出ます。危険な物を扱っているという自覚を常に持つ必要があると思います。

最近、高齢者の方の自動車運転による事故をよく耳にします。

年齢を重ねると共に視野が狭くなり、視力や運動能力の低下は危険な運転や大きな事故につながります。蛇行運転や道路の中央で停車をしているのを見かけると、いつか事故をおこしてしまうのではないかと不安になります。

地域の安全、何よりも高齢のドライバーの方の安全の為に、町内で定期的に自動車運転教室を開いてもらい、技術に不安のある方も安心して自動車の運転ができるようにしていただきたいと思います。

もう一つの望みは、学校の運動場やテニスコートが冬になると霜が降りてぬかるんだり、沢山ある木々の落ち葉の清掃で部活時間が短縮され、満足がいく練習ができません。なので、寒い時期でも、思い切りボールの使える様な環境を整えてもらいたいです。

## 議員視察研修

### 一 鹿児島県を視察一

10月23日～25日に鹿児島県のさつま町と鹿児島市に議員全員で視察研修に出掛けました。

### 1、さつま町における議会改革について

議会基本条例を平成21年に制定し、着実に議会改革を進めているさつま町議会を訪れ、事前にお渡ししておいた質問事項に従って議

た道筋等について研修を行いました。

### 2、鹿児島市における防災全般や降灰対策について

スコリア土壌に覆われているため大雨ごとに被害に遭う小山町が、鹿児島市の桜島噴火による火山灰の対策について学ぶことは大きな意義がありました。長年の経験から万全の対策が

会改革の特徴やそこ

講じられている点を細かく学びました。

### 3、桜島防災出張所における土石流対策について

桜島の噴火に対する観測体制や直轄火山砂防事業について、映像や資料等に基づき説明を受け、河川砂防の実態を火山防災センターから見学しました。

(記 高畑博行)



▲鹿児島市役所で火山灰対策について視察

## 皆さんの声を募集しています！

町づくりや子ども教育のことなど、どんなことでも結構です。あなたの住所、氏名、電話番号を明記してメール、ファックスやお手紙で気軽に寄ってください。

ご応募いただいた内容は、広報委員会で選考し、ご本人に承認していただいたうえで「議会だより」に掲載することになります。

## 会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で閲覧できますので、ご覧ください。

なお、12月定例会の会議録は、2月下旬から閲覧できます。議会だよりは、町のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>

議会へのメールアドレス [gikai@fuji-oyama.jp](mailto:gikai@fuji-oyama.jp)

## 編集後記

12月議会において全議員が一般質問に立ち、2日間にわたってそれぞれの考えを述べ、町の方針について確認する等、新しいページを刻んで終了した。また、21日には南定橋市の市長をはじめ議員と小山町で「きんたろう議会」を開催し、両市町の更なる発展と今後の交流拡大をいっそう図るべく意見交換をし、理解を更に深めあうことができた。

この他、議会改革にも取り組んでおり、現在議会改革調査特別委員会がさまざまな事項について検討しています。新春を迎え、これから先日本の政治がどのような変化をたどっていくのか不明ですが、議会だよりが皆様方により親しまれ、愛読していただけるよう、編集委員一同今後も内容の充実等に努めて行く所存です。

(記 阿部 司)

- 委員長 廣嶋 邦彦
- 副委員長 高畑 博行
- 委員 阿部 司
- 委員 遠辺 悦郎
- 委員 湯山 鉄夫

